

1. 開催概要

- 開催日 : 2015年6月9日（火）16:30～19:00
- 開催場所 : BGA0 東京オフィス
- 進行役 : 大塚（座長）
- 議事録作成 : 大塚（座長）
- 出席者数 : 10名（出席者名は末尾参照）
- 配布資料 : なし

2. 議事内容

（1）はじめに（報告：大塚）

前回(5/21)から間を置かずの開催となったが、短期間にたて続けに災害・事故が発生した。5/30夜に小笠原沖の深海での巨大地震が発生した。ちょうどその日は伊藤副座長が伊豆大島の地域安全学会、春季大会に出席、羽田から帰路の途中であったとのこと。伊豆大島は2013年10月台風26号に伴う豪雨災害のため、いまだに3名行方不明者がおられる。今大会は防災が中心の学会だったが、ITインフラ系、特に小型無人航空機（Unmanned Aircraft, UA・・・ドローン）を利用した災害情報の収集や通信の継続性確保についても活発に議論された（特にOFF会ではドローンの話題が中心）。また、豪雨災害の現場の視察も行ったということである。

次に6/2日本年金機構がサイバー攻撃され年金受給者や加入者の個人情報約125万件が流出した事件が公表された。機構側の責任者の発表を見ると、当事者意識が薄くまたサイバーセキュリティの知識も乏しいと感じられる。6/10には東京商工会議所で事務局員が使っているパソコンが、業務などを装った「標的型メール」でウイルス感染し東商が主催したセミナーの参加者の名簿など1万2139件の個人情報が漏洩したとの報道があった。MLにてITB0研メンバーから特にマイナンバー解禁後、民間企業はどうやって、サイバー攻撃による情報漏えいを知ることができるのかなど深刻な問題が提起された。米国の事案では、SSN(社会保障ナンバー)が漏えいし、本人に成りすまして不正利用された結果、クレジットカードの新規取得が出来なくなっていたり、不法移民が正規就労していたりした事実が何年も後に発覚した。漏えいしてもなかなか気が付かず、何年も後に大きな問題となって顕在化する傾向があることに留意する必要がある。

研究会開始に先立ち、ポリコム+Skypeによる東京オフィスと大阪オフィス、ローカルの3か所を接続した会議通話の実証実験を行った。東京、大阪、京都間で一応会話は可能であるが、さらに調整の余地があるので継続して検討することとした。

（2）連絡事項

- ① 新規入会された齊藤氏（電通ワークス）からご挨拶していただいた。関西在住の方のため主に大阪から会議通話で参加される。

- ② 6/23 (火) PM、東京国立オリンピック記念青少年総合センターにて「訓練」をテーマにした講演二題がある。意見交換会はなし。
- ③ BCAO 規定集の公開。現在26文書が存在する、今後一般会員にも閲覧できるようHPにアップするよう順次計画するとのことである。
- ④ 関西地区勉強会との交流促進について。先日、理事であり、関西地区副支部長兼勉強会副座長の鷲山氏と会話し、今後相互交流を促進することで合意した。以前、ITB0 研、関西地区合同研究会を実施したことがある。具体的な内容についてはこれから相談し進める。

### 3. 今月のMLの話題

#### (1) 「システム安全」を考える～Security と Safety

-ユーザーにとって、サイバーセキュリティ対策への取り組み方はなじみのないもの。プラントや発電所、工業機械、自動車や家電に適用されるISO/IECガイド51:2014(安全側面-企画への導入指針)に明記されているリスク低減の考え方はインフラや社会に広範囲に影響を及ぼすシステムのセキュリティを考える場合にも応用できる。当ガイドをうまく活用してユーザーにサイバーセキュリティへの取り組みを分かりやすく説明すれば効果的であると考え。-HEMS-重点機器運用ガイドラインが発行され各レイヤーでのネットワークの企画統一が進んだ。上位レイヤーはECHONET Liteプロトコルで標準化が進められている。

#### (2) 「ワイヤレスジャパン2015」@東京ビックサイト (5/28-5/29)

-NICT(国立研究開発法人情報通信研究機構)が全国で行っている実証実験の成果を確認した。

-フェーズドアレイ気象レーダとソーシャルデータでゲリラ豪雨災害を正確に予測する。2008年7月兵庫県都津川で起きた水難事故(16人が流され小学生2人、園児1人を含む5人が死亡した)を教訓に、30秒ごと降雨の3次元分布を把握、ゲリラ豪雨の早期探知を短時間で実現する。また、地形や地域のハザードマップに加え車・人の分布状況とリアルタイムに統合し総合危険マップを提供する。また、(配信先限定の)SNSとの連携で信頼性の高い被害情報の収集と配信を行う。以上神戸市における実証実験を行った。

-小型無人飛行機を利用したワイヤレス中継伝送技術。高知県四万十市で行われた、携帯電話の届かない地域にフェムトセル中継器を仮設し通話の実証実験を通信3社と実施。通信の可否以前にまず飛行機(ドローンも)の飛行時間の問題をどう解決するかが先決であろう。

-自律型端末間通信を用いた地域情報集配信ネットワーク。実証実験場所として京都府相楽郡精華町で「精華くるりんバス」とその沿線で実施。端末同士がつながり地域内で情報の集配信、災害に強い無線ネットワークになる。インフラに依存しない端末間通信はIEEE802.15.8として国際標準化が議論されている。中央制御局が無く中央制御通信ネットワークのAP生涯によるネット

ワーク機能中断がない。

以上、もう少し議論し論点を整理したうえでNICT見学を計画したい。

(3) [メルマガ風味 22] ISO/TC223 が廃止されセキュリティ分野の TC を統合し ISO/TC292 が発足。3/8-3/13 盛岡で決定された。詳細については今後 ITBO 研メンバーである西出氏に解説をお願いしたい。

(4) 「セキュリティ・バイ・デザイン」、「プライバシー・バイ・デザイン」については次回に取り上げる。

#### 4. 次回 ITBO 研究会

	開催日	時間	場所
	7月14日(火)	16:30-18:30	BCAO 東京オフィス

今回は研究会成果発表会が近いので、ITBO 件 2014 年研究会活動報告内容の確認を中心に行う

#### 5. ITBO 研究会会員 (敬称 略)

No.		氏名	参加	所属
1	座長	大塚 純一	○	
2	副座長	関山 雄介	○	大成建設
3	副座長	伊藤 高信	○	FUN Inc.
4		近藤 隆一	○	
5		岡 伸幸	○	ソフトバンクモバイル
6		吉川 明人	○	NECネクサソリューションズ
7		安齊 隆正		富士通エフサス
8		海田 雅人		東京共同会計事務所
9		西出 三輝		損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント
10	リモート参加	野原 英則	○	京セラ
11		宮島 正孝		セイコーエプソン
12		山口 孝一	○	IIJ
13		森口 泰樹		AIG
14		加藤 誠		日立コンサルティング
15		後藤 富雄		バレイキャンパスジャパン
16		木村 信弥		株式会社 ディー・オー・エス
17		小尾 一介		Octave
18	大阪参加	齊藤 公男	○	株式会社電通ワークス
19	オブザーバー	伊藤 嘉浩	○	キングフィッシュコミュニケーション

上記のほかに、日下様 (住友電気工業)、斎藤様 (IIJ)、小友様 (富士通エフサス)、飯田様 (江崎グリコ) が ML にて参加されている。

(以上)